

望洋台地区の小中一貫教育 (望洋台中学校 望洋台小学校)

【小中一貫教育の目標】

ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子ども

【児童生徒の実態】

- 一生懸命取り組むが、自主性に乏しい。
- 面倒なことを敬遠する傾向
- 基礎学力は定着するも活用力に課題がある。
- 自己中心的
- 過保護過干渉な傾向がみられる

【めざす児童生徒像】

- ・確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成
- ・自尊感情・思いやりの心の醸成
- ・心身の健康増進・個性の伸長

【地域の実態】

「町会」の活動は活発で町ぐるみで子どもたちを育てようという意欲が高い。協力的で、温かく子どもたちを見守ってくれている。

【望洋台小学校】

『意欲的に学び 共に考え
認め合う望洋台の子』
～「やさしさ」と「つながり」～

【望洋台中学校】

ふるさとで 主体的に学び 心豊かに
未来を創造的に生きる望洋台の子ども

町会 保護司会

小中連携協議会

各学校PTA
四校連絡協議会 等

9年間の学びの連続性

学力の向上

- ・学習規律
- ・乗り入れ授業
- ・授業研究の相互参加
- ・授業づくりの5つのSTEPの共有化

コミュニケーション能力の向上

- ・各教科等における言語活動の充実
- ・異学年交流
- ・挨拶の推奨
- ・相手意識を持った行動 言葉遣い

生活習慣・体力の向上

- ・生活のやくそく
- ・生活リズムチェック
- ・年間を通した体力作り
- ・手洗いとうがいの習慣化 3密の回避

- ・9年間を見通した授業作り、教育課程編成
- ・合同授業
- ・ICT活用による授業作り

- ・児童会・生徒会による合同活動
- ・ボランティア活動の交流
- ・合同行事等の実施検討

- ・家庭学習の取組
- ・中学校体験学習
- ・特別支援教育の交流
- ・小中合同研修